レポートを操作する

Active IQ Unified Manager

NetApp
November 13, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/active-iq-unified-manager-918/reporting/concept_report_work_flow.html on November 13, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

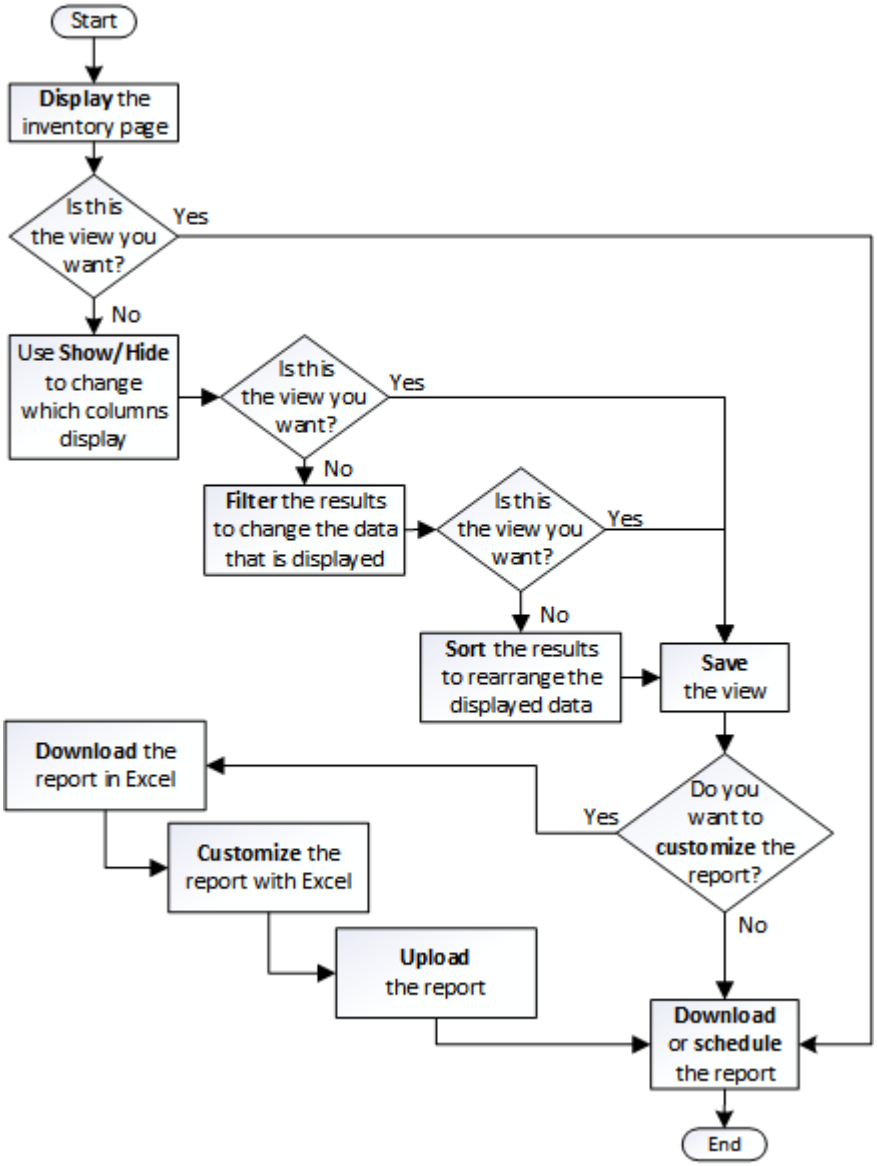
目次

レポートを操作する . . . 1
- Active IQ Unified Manager のレポートワークフローを理解する . . . 1
- Active IQ Unified Manager でのレポート作成の開始 . . . 1
- Active IQ Unified Manager でスケジュールされたレポートを検索する . . . 4
- レポートをカスタマイズする . . . 5
  - Active IQ Unified Manager でレポートをカスタマイズする . . . 5
  - Active IQ Unified Manager でレポートの列をカスタマイズする . . . 5
  - Active IQ Unified Manager でデータをフィルタリングする . . . 6
  - Active IQ Unified Manager でデータをソートする . . . 6
  - Active IQ Unified Manager での検索による表示の絞り込み . . . 7
  - Active IQ Unified Manager でExcelを使用してレポートをカスタマイズする . . . 7
- Active IQ Unified Manager でレポートをダウンロードする . . . 8

レポートを操作する

Active IQ Unified Manager のレポートワークフローを理解する

以下は、レポートのワークフローに関するデシジョン ツリーです。



Active IQ Unified Manager でのレポート作成の開始

サンプルのカスタム レポートを作成して、各ビューの内容とレポートのスケジュール設定について学びます。このクイック スタートのレポートでは、アクセス頻度の低いコールド データが相当量あり、クラウド階層への移動を検討するボリュームを特定します。「パフォーマンス：全ボリューム」ビューを開き、フィルターと列を使用してビューをカスタマイズし、カスタマイズしたビューをレポートとして保存し、そのレポート

を週に一度共有するようにスケジュールします。

開始する前に

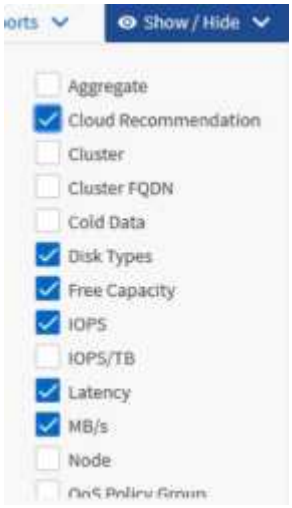
- アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。
- FabricPoolアグリゲートを設定しておく必要があります。また、それらのアグリゲート上にボリュームが必要です。

以下の手順に従って、次の操作を実行します。

- デフォルト ビューを開く
- データをフィルタおよびソートで列をカスタマイズする
- ビューを保存する
- カスタム ビューに対して生成されるようにレポートをスケジュール設定する

手順

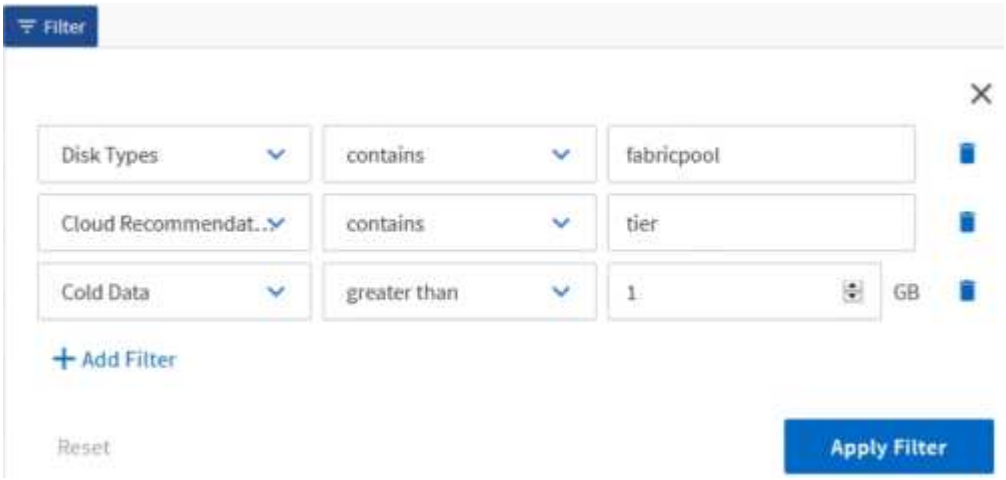
1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ ＞ ボリューム をクリックします。
2. 「表示」メニューで、「パフォーマンス」＞「すべてのボリューム」を選択します。
3. 「表示/非表示」をクリックして、「`Disk Types`」列がビューに表示されていることを確認してください。



列を追加または削除して、レポートに必要なフィールドを含むビューを作成します。

4. 「`Disk Types`」列を「`Cloud Recommendation`」列の隣にドラッグします。
5. フィルターアイコンをクリックして以下の3つのフィルターを追加し、*フィルターを適用*をクリックします。

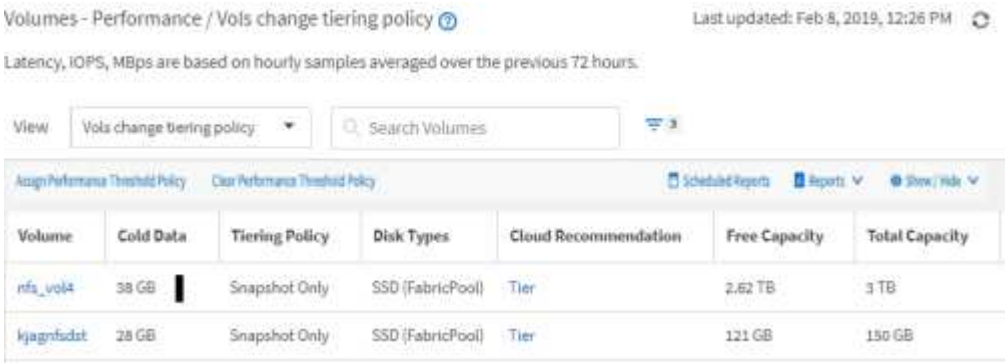
   - ディスクの種類にはFabricPoolが含まれます
   - クラウドに関する推奨事項に階層が含まれる
   - 10 GBを超えるコールドデー



タ

各フィルタは論理積で結合され、すべての条件を満たすボリュームだけが返されます。最大5個のフィルタを追加できます。

6. [コールド データ]列の上部をクリックして結果をソートし、コールド データの量が最も多いボリュームがビューの先頭に表示されるようにします。
7. ビューがカスタマイズされている場合、ビュー名はUnsaved Viewになります。ビューには、そのビューが表示する内容を反映する名前を付けます。たとえば、「`Vols change tiering policy`」などです。完了したら、チェックマークをクリックするか、*Enter*を押して、新しい名前でビューを保存します。



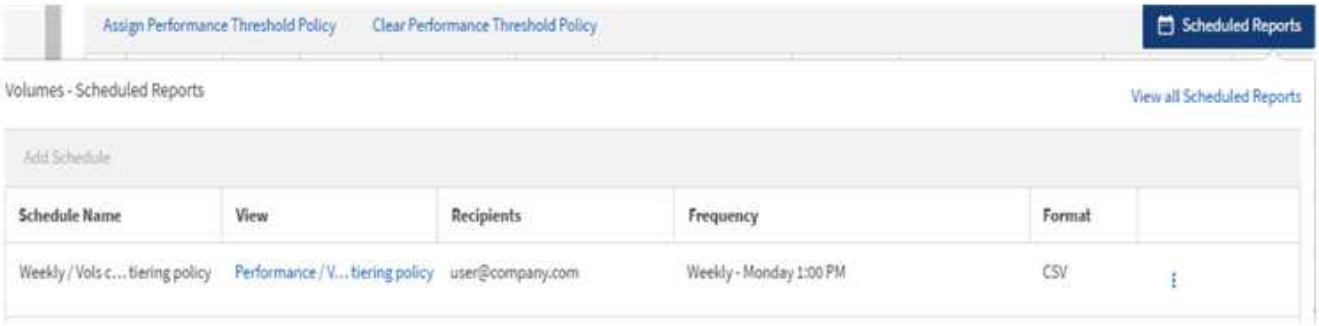
8. レポートを*CSV*、**Excel**、または*PDF*ファイルとしてダウンロードして、スケジュール設定や共有を行う前に出力結果を確認してください。

   Microsoft Excel（CSVまたはExcel）やAdobe Acrobat（PDF）などのインストールされているアプリケーションでファイルを開くか、またはファイルを保存します。

   ビューをExcelファイルとしてダウンロードすると、複雑なフィルタ、並べ替え、ピボットテーブル、グラフを使用してレポートをさらにカスタマイズできます。Excelでファイルを開いてから、高度な機能を使用してレポートをカスタマイズします。問題がなければ、Excelファイルをアップロードします。このファイルとそのカスタマイズ内容は、レポートの実行時にビューに適用されます。

   Excel を使用したレポートのカスタマイズに関する詳細については、「Microsoft Excel レポートのサンプル」を参照してください。

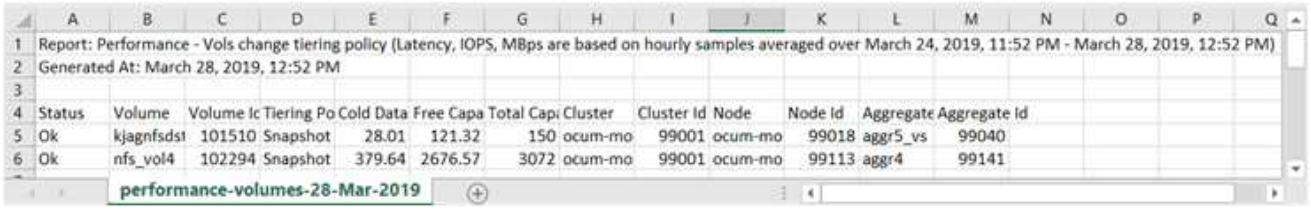
9. インベントリページの「スケジュール済みレポート」ボタンをクリックします。このリストには、対象オブジェクト（この場合はボリューム）に関連するすべてのスケジュール済みレポートが表示されます。



10. スケジュールを追加 をクリックして、レポートスケジュールページに新しい行を追加し、新しいレポートのスケジュール特性を定義します。
11. レポートの名前を入力し、他のレポートフィールドへの入力を完了したら、行の最後にあるチェックマーク（✓）をクリックします。

    テスト レポートがすぐに送信されます。以降、指定した頻度でレポートが生成され、リスト内の受信者にEメールで送信されます。

    CSV形式のサンプル レポートを次に示します。



    PDF形式のサンプル レポートを次に示します。



レポートに示された結果に基づいて、ONTAP System ManagerまたはONTAP CLIを使用して、特定のボリュームの階層化ポリシーを「`auto`」または「`all`」に変更し、より多くのコールドデータをクラウド階層にオフロードすることをお勧めします。

Active IQ Unified Manager でスケジュールされたレポートを検索する

スケジュール済みレポートは、名前、ビュー名、オブジェクト タイプ、または受信者で検索できます。

1. 左側のナビゲーションペインで、ストレージ管理 ＞ レポートスケジュール をクリックします。
2. 「スケジュール済みレポートの検索」テキストフィールドを使用してください。

...によるレポートを探すには	試す...
スケジュール名	レポート スケジュール名の一部を入力します。

...によるレポートを探すには	試す...
ビュー名	レポート ビュー名の一部を入力します。デフォルト ビューとカスタム ビューがビュー リストに表示されます。
受信者	Eメール アドレスの一部を入力します。
ファイル タイプ	「PDF」、「CSV」、または「XLSX」と入力します。

3. 列見出しをクリックすると、レポートをその列（スケジュール名や形式など）の昇順または降順でソートできます。

レポートをカスタマイズする

Active IQ Unified Manager でレポートをカスタマイズする

さまざまな方法でビューをカスタマイズすることで、ONTAPクラスタの管理に必要な情報をすべて含んだレポートを作成することができます。

デフォルトのインベントリ ページまたはカスタム ビューをベースに、列の追加や削除、列の順序変更、データのフィルタリング、特定の列での昇順または降順のソートなどを行い、カスタマイズします。

Unified Manager 9.8以降では、ビューをExcel形式でダウンロードし、高度な機能を使用してカスタマイズすることもできます。完了したら、カスタマイズしたExcelファイルをアップロードします。アップロードしたビューを使用してレポートをスケジュール設定すると、カスタマイズしたExcelファイルを使用してレポートを作成し、共有することができます。

Excel を使用したレポートのカスタマイズに関する詳細については、「Microsoft Excel レポートのサンプル」を参照してください。

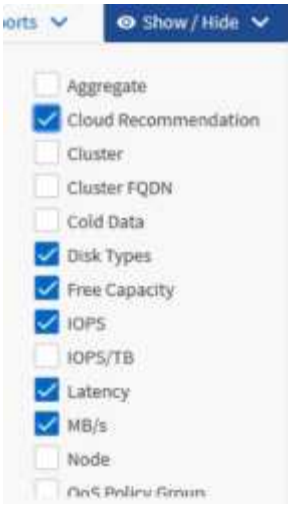
レポートを操作するには、アプリケーション管理者またはストレージ管理者のロールが必要です。

Active IQ Unified Manager でレポートの列をカスタマイズする

「表示/非表示」を使用して、レポートで使用する列を選択してください。インベントリ ページの列をドラッグして並べ替えてください。

手順

1. 「表示／非表示」をクリックすると、列を追加または削除できます。



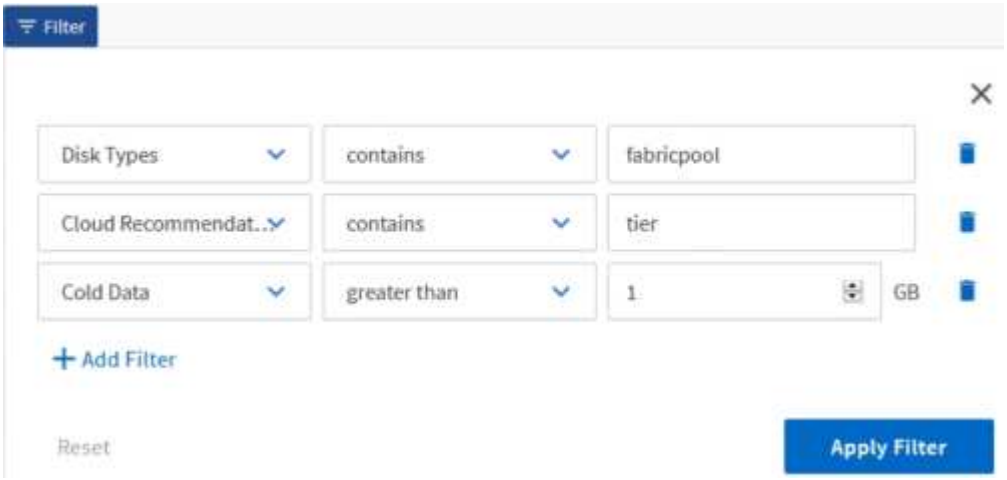
2. インベントリ ページで、列をドラッグしてレポートで必要な順序に並べ替えます。
3. ビューに名前を付けて変更を保存します。

Active IQ Unified Manager でデータをフィルタリングする

要件を満たすレポートを作成するには、データをフィルタリングします。フィルタリングすることで関心のあるデータのみを表示できます。

手順

1. フィルターアイコンをクリックしてフィルターを追加し、表示したい結果を絞り込んでから、*フィルターを適用*をクリックしてください。



2. ビューに名前を付けて変更を保存します。

Active IQ Unified Manager でデータをソートする

結果をソートするには、列をクリックし、昇順または降順を指定します。データをソートすることで、レポートに必要な情報に優先順位を付けることができます。

手順

1. 列の見出しをクリックして、最も重要な情報がビューの先頭に表示されるように結果をソートします。
2. ビューに名前を付けて変更を保存します。

Active IQ Unified Manager での検索による表示の絞り込み

目的のビューが表示されたら、検索フィールドを使用して、レポートに必要な情報に合わせて結果をさらに絞り込むことができます。

手順

1. レポートのベースとして使用するカスタム ビューまたはデフォルト ビューを開きます。
2. 検索フィールドを使用してビューに表示されるデータを絞り込みます。表示されている任意の列の部分データを入力できます。たとえば、名前に「US_East」を含むノードを検索するには、全ノードのリストを絞り込むことができます。

   検索結果はカスタム ビューに保存され、スケジュール済みレポートで使用されます。

3. ビューに名前を付けて変更を保存します。

Active IQ Unified Manager でExcelを使用してレポートをカスタマイズする

保存したビューをExcelワークブック形式（.xlsx）でダウンロードできます。Excelファイルを開くと、Excelの高度な機能を使用してレポートをカスタマイズできます。

開始する前に

アップロードできるのは拡張子が.xlsxのExcelワークブック ファイルのみです。

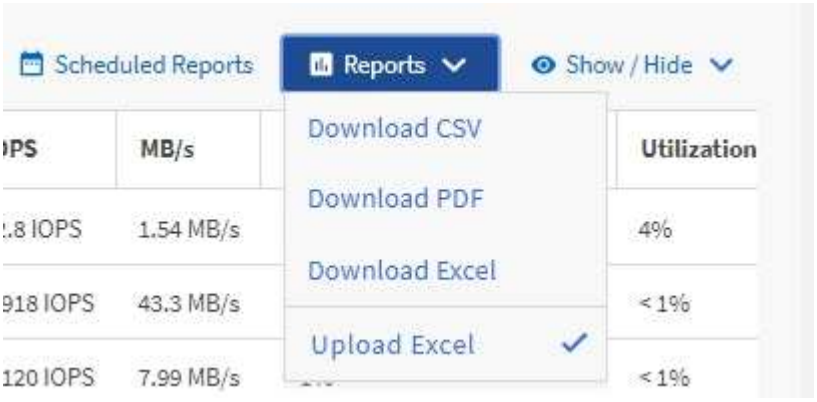
たとえば、次に示すExcelの高度な機能をレポートで使用できます。

- 複数列の並べ替え
- 複雑なフィルタ
- ピボット テーブル
- グラフ

- ダウンロードしたExcelファイルには、保存した名前ではなくビューのデフォルトのファイル名が使用されます。
  - フォーマットは `<View Area>-<Day>-<Month>-<Year>-<Hour>-<Minute>-<Second>.xlsx.`
  - たとえば、その日時に保存された場合、 `Volumes-not online`という名前のカスタム保存ビューのファイル名は `health-volumes-05-May-2020-19-18-00.xlsx`になります。
- Excelファイルにはシートを追加できますが、既存のシートは変更しないでください。
  - 既存のシート、データ、情報は変更しないでください。代わりに、作成した新しいページにデータをコピーしてください。
  - 上記のルールには例外があり、「`data`」ページで数式を作成できます。データページの数式を使用して、新しいページにグラフを作成します。

◦ 新しいシートにdataやinfoという名前を付けないでください。

- カスタマイズされたExcelファイルが存在する場合、レポート > **Excel**のアップロード メニュー項目の横にチェックマークが表示されます。Excelファイルをダウンロードすると、カスタマイズ済みのバージョンが使用されま



す。

手順

1. レポートのベースとして使用するデフォルト ビュー、カスタム ビュー、または保存したビューを開きます。
2. レポート > *Excelをダウンロード*を選択します。
3. ファイルを保存します。ファイルがダウンロード フォルダに保存されます。
4. 保存したファイルをExcelで開きます。ファイルを新しい場所に移動しないでください。別の場所で作業を行う場合は、ファイルをアップロードする前に元のファイル名を使用してファイルを元の場所に保存し直してください。
5. 複雑な並べ替え、フィルタ、ピボット テーブル、グラフなどのExcel機能を使用してファイルをカスタマイズします。詳細については、Microsoft® Excelのドキュメントを参照してください。
6. レポート > **Excel**ファイルのアップロード を選択し、変更したファイルを選択します。最後にダウンロードされたファイルが、同じファイルの場所からアップロードされます。
7. *スケジュール済みレポート*機能を使用して、テストレポートを自分宛に送信してください。

Active IQ Unified Manager でレポートをダウンロードする

レポートをダウンロードして、データをカンマ区切り値（CSV）ファイル、Microsoft Excel（.XLSX）ファイル、またはPDFファイルとしてローカル ドライブやネットワーク ドライブに保存できます。CSVファイルとXLSXファイルはMicrosoft Excelなどのスプレッドシート アプリケーションで、PDFファイルはAdobe Acrobatなどのリーダーで開くことができます。

手順

1. 「レポート」ボタンをクリックして、レポートを次のいずれかの形式でダウンロードします：

選択	目的
CSV をダウンロード	レポートをカンマ区切り値（CSV）ファイルとして保存します。
PDF をダウンロード	レポートを.pdfファイルとして保存します。

選択	目的
Excel をダウンロード	レポートをMicrosoft Excel（XLSX）ファイルとして保存します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。